

### 沖縄県内の長寿企業

## 8割以上が「本業集中」

ファミリービジネス研究所沖縄本部(比嘉正輝会長)は24日、創業年数が平均64年の沖縄の長寿企業へのアンケート調査結果を公表した。本業の比率の変化の質問では8割以上が「本業の変更はほとんどない」と回答。また9割以上が経営の指針となる社是を保有していることも判明した。

東京商工リサーチのデー

ファミリービジネス研究 タベースから創業年の古い順に500社を選出。この中から売上高5億円以上、金融機関や巨額な赤字企業以外など一定の選定条件を基に95社を抽出し、調査を実施した。

代表者の最も重要な役割についてとの質問には「人材の育成」(44%)、「スピード経営」(35%)と答えた企業が多数を占めた。

### 民間調べ 9割以上に社是

今後生き残るために必要なものは、との問いには「商品やサービスの充実」(39%)との回答が目立った。

事業継承については「後継者が決まっている」「検討している」を合わせた回答が9割を超えた。

同本部は「社是を実践しながら本業に集中している点や人材育成の重視、充実した財務状況などが沖縄の長寿企業に共通している」と総括した。